



中日本給食だより



No.14
2024
7

主な内容

- (2面～4面) 学校給食発祥の地(山形県鶴岡市)
その中心となった佐藤霊山
- (5面～6面) 栄養給食のはじまり(甘楽町立福島小学校)
重要性を訴えた斎藤寿雄
- (7面～8面) 戦後に送られた救援物資(LARA物資)
大きく貢献した浅野七之助

新鮮で安心・安全な青果物を迅速にお届けします。



株式会社 丸小青果

〒454-0014 名古屋市中川区柳川町15-4
TEL052-682-5666(代) FAX052-682-6656

深掘り! 学校給食の歴史



本誌「中日本給食だより」

四月号では、「学校給食歴史館」の展示内容を基に日本の学校給食の歴史についてまとめてきました。今号では、その歴史の中から取り上げた次の事柄に深く関わる場所に赴いて話を伺ってきました。

まず、一八八九年(明治二十二年)日本の学校給食発祥の地とされている山形県の鶴岡市の大督寺。

次に、一九三二年(昭和七年)栄養給食発祥の地とされている群馬県甘楽郡甘楽町の福島小学校。

そして、一九四六年(昭和二十一年)戦後の学校給食再開にも深く関わるララ物資が届けられた横浜港。

それでは早速、それぞれの歴史と背景をみていきましょう。



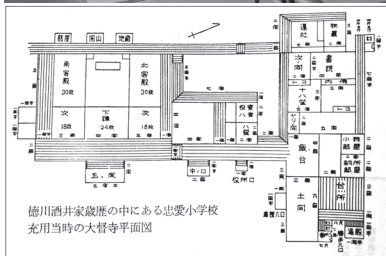
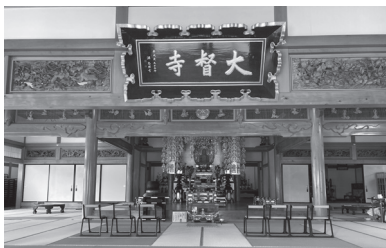
参考文献・取材協力/取材先

学校給食発祥の地 その中心となった佐藤霊山

山形県鶴岡市では大督寺の住職 齋藤さんが大督寺の歴史や当時の様子がわかる資料をお借りしながらお話を伺い、常念寺の副住職 渡邊剛紀さんには常念寺の歴史や佐藤霊山師について伺いました。また、鶴岡市学校給食センターの阿部広子さんから、現在の鶴岡市の学校給食について伺いました。その内容を次にまとめました。

※大督寺と私立忠愛小学校

日本の学校給食発祥の地とされている「私立忠愛小学校」は、山形県鶴岡市の鶴岡城址に近い大督寺の建物の一部を校舎として明治二十二年十月に開校されました。鶴岡町(現鶴岡市)の各宗派の住職が集まり、宗派を超えて協力し設立したため設立者は「鶴岡町各宗連合」となっており、その中心と



徳川酒井家歴代の中にある忠愛小学校
充用当時の大督寺平面図

なった人物は 常念寺の住職 佐藤霊山といわれています。この学校で必要となる授業料、教科書や学用品代、給食費などは無料として、托鉢によって捻出したとのことでした。

なぜ大督寺になったのかという詳しい理由については、残念ながら明治三十年十二月の火災により建物が消失したため、詳細資料などは残っていませんが、大督寺は旧庄内藩主酒井家の菩提寺であり、鶴岡城の裏鬼門としての役割もあつた

と考えられる場所であること、旧藩士の子弟に英語やドイツ語などを教える英学校とされていたことも理由の一つではないかと考えられています。

なお、この酒井家の初代は徳川家康に仕えていた四天王の筆頭、酒井忠次です。元和八年(一六三三)に出羽国庄内に入部した酒井家三代忠勝から明治維新までの歴代藩主による善政によって、領民の旧藩主を慕う気持ちは強く、藩主制度がなくなり鶴岡城が取り壊されても、鶴岡城本丸址に荘内神社を創建するほどでした。

忠愛小学校は本堂の左側二間(南客殿三十枚、次間十

ナガノマト なめ茸 うす塩味 1kg

*昆布や魚介の旨みにこだわりました。

*固形分80%なので、“トッピング”や“おにぎりの具材”にも最適です。

*長野県で採れた えのき茸 をじっくり煮込み、うす塩味※でも ご飯がおいしく食べられる味を表現しました。

※日本食品標準成分表2020年版(八訂) えのきたけ味つけ瓶詰と比較して、30%減塩したタイプです。



ナガノマト
Nagano



学校給食発祥の地記念碑々々

八枚、並びに小部屋二間を充用)を使用していたと伝わっており、平成十三年に完成した新本堂は当時とほぼ同じ作りとなっているため、当時の様子を偲ぶことができます。

齋藤さんによると、市内の児童が給食とお殿様の話を聞きに来ることもあるといい、今年四月には「当時の献立メニューを食べてみよう」というイベントを初開催したとのこと、今後も開催できたらしてみたいとのことでした。

※給食のはじまり
この頃は、貧しい家庭も多く、学校令が公布されて

明治二十二年十月内務省の各官署に
開校相関り恵まれぬ児童の子供たち
のため大智寺内に私立忠愛小学校を
開校するも一で三年に各官署に給食
は学校に委託された。同二十三年七月
各官署の委託は各官署に委託された。
二十一年に建設された大智寺境内に
おろされた給食の種子はその後全国
各地に開き昭和二十九年六月には
学校給食法(九百五十二号)が公布され
給食は正式に学校給食として今日
の形にまで発達した。ここに学校給食
の心と建樹をしのび給食発祥の地
の地に記念碑を建てていくことを教
育する。
昭和三十四年十一月六日
昭和三十四年十一月六日
昭和三十四年十一月六日
昭和三十四年十一月六日
昭和三十四年十一月六日
昭和三十四年十一月六日
昭和三十四年十一月六日
昭和三十四年十一月六日
昭和三十四年十一月六日
昭和三十四年十一月六日

いたものも学校の通えない子どもも多い時代でした。その子どもたちを学校へ通わせたいと考えて設立したのが私立忠愛小学校ですが、昼食を食べない子どももいたため、調べてみると子どもの間で弁当が盗まれていたことが分かりました。また、盗んだ子どもも家庭は特に貧しく食事に困るほどであることも分かりました。このままではいけない、ということになり食事を提供するようになったと伝わっています。

記録によると三十人から六十人ほどの子どもが通っていたようですが、炊事係として女性二人が通って

た記録もあります。
開校と同時に入学したという人の話として、「在校生は六十七人で、昼食は白米のにぎり飯2個とおかずは野菜と魚類で、その魚は主に塩乾物だった」というものが残っています。

学校給食のはじまりとして「握り飯と塩鮭と菜の漬物」というメニューになっているのは、これに由来すると考えられます。

またこの学校の給食は、毎日学校で昼食を提供したというところ、給食の内容も主食と副食を合わせたものであったこと、子ども間の差別感を無くすための配慮がなされていたことが考えられています。このことから「学校給食」開始七十年目を記念して、昭和三十四年に給食発祥記念碑を大智寺境内に建立することになりました。

先述の火災により忠愛小学校は廃校となりましたが、明治三十三年に各宗協同忠愛協会を設立して、給食費を児童数に応じて各学校に

<p>Friends Meal フレズミール 原材料に卵・乳・小麦を使用しません。®</p> <p>焼き調理がおすすめ!</p>	<p>FM国産キャツメンソチカツ(50)(70)</p>	<p>Friends Sweets フレズスイーツ®</p>	<p>フレズクレープ(ヨーグルト風)</p>
<p>国産キャツの甘味を引き出し、子供にも食べやすい優しい味わいに仕上げました。不足しがちな栄養素に配慮しました。</p>		<p>ヨーグルト風味のクリームと爽やかな味わいが広がるヨーグルト風味のソースを組み合わせました。</p>	

「みんなと一緒に楽しく同じものを食べたい!そんな思いに応えた「2つのフレズ」」
子どもたちの笑顔のために、アレルギー対応の「専用工場」よりお届けします。

<p>Friends Meal フレズミール 原材料に卵・乳・小麦を使用しません。®</p>	<p>Friends Sweets フレズスイーツ®</p>
<p>日東ベスト株式会社 NittoBest</p>	<p>本社 山形県寒河江市幸町4-27 電話:0237(86)2100 営業本部 千葉県船橋市習志野4-71-1 電話:0474(77)2110 名古屋支店 名古屋市熱田区千代田町17-8食品ビル2F 電話:052(682)2841 ※A-Z印刷 http://www.nittobest.co.jp/</p>



常念寺にある佐藤靈山師の絵画

支給するという形に変えながらも活動は続けられ、戦争により継続できなくなった昭和二十年まで行われたとのことです。

※中心となった佐藤靈山師

佐藤靈山(嘉永四年(一八五二)〜昭和二年(一九二七))は、明治八年に常念寺の二十代住職となった人物で、災害の際には私財を投じて難民の救済に当たり、身元不明の行倒れの人があればそれを葬り、世間から白い眼で見られる人があればその支えとなるような人物であつたと伝わっています。

また、忠愛小学校に必要な費用や忠愛協会に必要な基金は同志と托鉢をして集めたとのこと。托鉢で

基金を集めることは大変なことだと想像できませんが、「親分肌の人だったみたいだ」と現副住職の渡邊さんは語り、一軒ずつまわる托鉢を同志に声をかけて続けていたようだったとのことでした。

なお、常念寺は山形城(山形県山形市)の城主最上家の菩提寺で、義光が長男の義康の菩提を弔っています。佐藤靈山は地域の為に時の鐘を鳴らし続けていたことも伝わっており、その鐘は最上義光が奉納した梵鐘と伝わっています。また、その時刻を見るため使用した寺の塔時計は最古の国産塔時計であることが近年わかり、今年四月に山形県指定有形文化財に指定されたそうです。

※現在の鶴岡市の学校給食

鶴岡市内の小中学校では「学校給食発祥の地」にちなんで、平成元年(一九八九)には学校給食百年を記念して発祥当時の給食を再現した「おにぎり給食」を取り入

れ、令和二年(二〇二〇)からは「おにぎり給食」から「昔の給食」に移行して給食発祥当時の一部を再現した給食を毎年十二月に実施しているとのこと。

また令和四年には「酒井家庄内入部四百年記念献立」も実施し、鶴岡の歴史や郷土料理・鶴岡産食材を多く取り入れた給食を実施しているということでした。

なお、鶴岡市は日本で初めて「ユネスコ食文化創造都市」に認定された都市でもあり、在来作物や独特であり多様な食と食文化を育んでいる都市でもあります。



昔の給食献立

セルフでおにぎりを作る

白身魚の香草フライ(兵庫県産バジル)

〈Fe・Ca〉 35g×100入/2合 50g×100入/2合

白身魚(ホキ)のすり身と玉ねぎ、人参を加えた生地に、兵庫県産バジルペーストを合わせた仕上げた上品な味わいの香草フライです。



兵庫県産バジルのチキンフライ 〈Fe・Ca〉

35g×100入/2合 50g×100入/2合

国産鶏肉をベースにした生地に、爽やかな香りの兵庫県産バジルのソースを合わせた香草フライです。



彩り野菜と豆腐のミートボール 〈Fe・Ca〉

SSサイズ 1kg×5入/2合、Sサイズ 1kg×5入/2合

国産の鶏肉・豚肉をベースに4種の彩り野菜(たまねぎ、枝豆、とうもろこし、にんじん)を加えたミートボールです。

豆腐に合わせたふんわりとした生地に粗く刻んだ野菜の食感をお楽しみいただけます。



「味の感動」を伝えつづけています。

エム・シーシー食品は、神戸で1954年(昭和29年)に創業しました。手づくり感のある「本物の味」にこだわった商品は、多くのプロフェッショナルな方々から大きな支持と信頼を得ております。私たちはこれからも製品を通じて「新しい食卓、食シーン」の提案を『デザイン都市・神戸』から発信してまいります。<2008年10月16日 神戸市はユネスコ「デザイン都市」に認定されました。>

名古屋支店: 〒451-0045 名古屋市西区名駅 3-6-20 (福田ビル3F) TEL:052-586-4070 FAX:052-586-4071



栄養給食のはじまり 重要性を訴えた斎藤寿雄



群馬県甘楽郡甘楽町では、甘楽町立福島小学校校長の新井綱人さんと、甘楽町図書館の渡辺淳さんと共に資料を読みながらお話を伺いました。その内容を次にまとめます。

※甘楽町立福島小学校
群馬県の高崎駅から電車で三十分程の場所にあり、富岡製糸場がある上州富岡駅の二つ手前の駅が最寄り駅です。

この福島小学校では、昭和七年十二月七日に日本で最初に栄養給食としての学校給食が開始されました。また、昭和九年十一月十五日に日本で初めて昭和天皇が学校給食に深く関心を寄せ、同校の学校給食状況を侍従に視察させたことを記念した「御使御差遣記念碑」があります。

同校では令和五年度の六年生「総合的な学習の時間」の際にこれらを取り上げ、



学校給食の碑

リーフレット作成や記念碑のキャラクターを作るなどしたということです。

また、十二月七日を「甘楽町学校給食の日」として、当時のメニューである「味噌スチュー」「豆みそ」などの献立を町内小中学校一斉に提供しています。

※世界恐慌と昭和恐慌

昭和四年にアメリカ合衆国に端を発する世界恐慌が日本にも大きく影響し、昭和五年から六年には昭和恐慌といわれる深刻な大不況となっていました。また、昭和六年は東北と北海道地域で冷害のため大不作となっており、全国的規模で欠食児童がいたと考えられています。

政府はこれを憂慮して昭和七年九月に「学校給食臨時施設方法」を定め、「学校給食指針」を発行し、国庫補助による就学奨励や栄養改善を目的とした学校給食が初めて実施されることになりました。

※栄養給食のはじまり

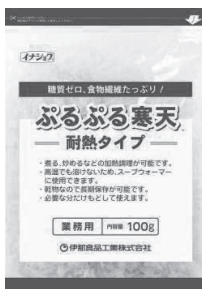
昭和十年十月に文部省から発表された「明治四十五年から昭和七年」の全国の学生・生徒・児童の調査結果と比べて、この地域(旧福島町)の体格は極めて劣っており、背は低く小さく、結核等になる人も多かったようです。また、早く亡くなる人が多い地域だったと残っています。

その中で多井戸地区は戸数が二十三戸、百六十一人という数でもあったので、モデル地区として昭和七年三月から栄養改善事業が主体で開始されました。国から栄養士が二名派遣され、カロリーや栄養素を考え献立を作り方から住民に泊まり込みで教え、食事と栄養の重要性を普及させていきました。これにより多井戸地区の栄養状態や健康状態は目に見えて改善していきます、当時の話として、医者が不要になったと伝わっています。

多井戸地区の子どもたち

ぷるぷる寒天 耐熱タイプ

こんにやくと寒天を合わせた、これまでにない新しい素材です。食物繊維が豊富で、水に戻すだけで簡単に使えます。煮ても焼いても溶けません。



伊那食品工業株式会社

はこの献立で作られた「栄養弁当」を持参して通学していたため、これを町全体の学校給食に実施してはどうかという機運が芽生えた頃に、先述の文部省の訓令が発せられました。

昭和七年十一月に町議会で学校給食を行うことを全員一致で可決し、十二月七日から福島尋常高等小学校で学校給食が開始されました。在籍者は八百人でした。

当時はおかずのみを学校の調理場で作るという方法で、その費用は町から全額支出し、調理場は炭置き場を改造して整備し、専門の調理員を雇っていました。この調理場で使用する釜も町内の有志からの寄付だったと残っています。

お話を伺った渡辺さんの祖父は当時小学校に通っており「ごはんを持っていけば、おいしいおかずがもらえた」とよく語ってくれたとのことでした。

また、この事業が始まったから「ねぎ・にんじん・し



学校給食の日特別メニュー「有機栽培給食まめみそ」

いたけ」を嫌いという子どもが増えたということや、「調理する」ということが地域に浸透した結果なのではないかということでした。この栄養改善については当時は珍しいものであり、優れたものであったために世界が注目し、新聞取材やインドからの視察もあったと証言が残っています。

※大きく携わった斎藤寿雄
斎藤寿雄は、弘化四年（一八四七）上野国甘楽郡小幡藩医の次男として生まれました。明治十二年（一八七九）に官営富岡製糸場の嘱託医

になった頃から栄養について関心を持ち、学びました。その後、大正十四年（一九二五）に佐伯矩が栄養学校（栄養士）を育てる、世界初の学校を設立する際には委嘱されてこの学校の名誉校長となりました。

医師の立場からも栄養の重要性を訴えた人でしたが、昭和初期当時、群馬県医師会長でもあった斎藤寿雄は、栄養改善の重要性を訴え、多井戸地区の栄養改善事業や学校給食の必要性を強く訴え続けました。

昭和七年三月に児童の弁当調査を行わせた結果は次の通りで、

- ・副食を持参しない者（甘藷、焼餅等）…6.9%
- ・醤油、味噌、塩等のみの者…4.1%
- ・漬物のみによる者…56.2%
- ・動物性食品による者…12.2%

明らかなたんぱく質不足を目に見える形にしたことも栄養給食の開始の重要なきっかけであったと考えられます。

テーオー食品の エブリイ シリーズ



Fパックエブリイ
甜面醬330g



エブリイ
甜面醬500g



エブリイ
カレーフレークS1kg



エブリイ
ハヤシルウS1kg



エブリイ
ホワイトルウS1kg

各種スパイスの特性を活かしつつ
マイルドな優しい味

 テーオー食品株式会社


テーオー食品の ハイグレード21 シリーズ



カレールウ
ロングセラー



ハヤシルウ
濃厚な
味わい

 テーオー食品株式会社

本社 〒171-0052 東京都豊島区南長崎 1-2-4
TEL : 03-3952-1381
FAX : 03-3950-8693

戦後に送られた救援物資 大きく貢献した浅野七之助

昭和二十一年（一九四六）、戦後の学校給食の再出発に重要な役割を果たした「ララ物資」について調べるにあたって、今回はJICA横浜 海外移住資料館にご協力いただきました。

※LARA(ララ)とは

昭和二十一年六月「海外事業運営篤志団アメリカ協議会」が日本・朝鮮及び沖縄において救済事業を行うために設置した特別委員会が、「Licensed Agencies for Relief in Asia」(アジア救済公認団体)であり、その頭文字をとった略称がLARA(ララ)です。この団体はアメリカの宗教団体や社会事業団など十三団体で構成されており、団体が集めた救援物資はニューヨークのララ本部に送られた後、海上輸送で横浜港に運ばれました。

そして、昭和二十一年

十一月三十日に横浜に第一船ハワード・スタンダードベリ号が到着しました。その後、昭和二十七年まで六年間続けられました。

※ララ物資の内訳

横浜港に届けられた物資はララ倉庫に納められ、厚生省が決めた配分方法に従って全国の児童施設、保育所、ミルク・ステーション、老人収容施設、母子寮、保健所、病院など八万六千以上の施設に配給されました。届けられた物資品目は食糧、衣料、靴、石鹸、原綿、薬品などがあり、受領数量は合計で一万六千二百七、八九トン。全額で四百億円(現在の約六千億円相当)を超え、当時の総人口の十五%(千四百万人)が受け取ったとされています。この中には、ヤギ二千三十六

頭、乳牛四十五頭も含まれており、母乳不足の乳児にとってはヤギの乳が貴重なたんばく源だったとのこと。です。

取扱いについても厚生省から指示が出され、例えば「食糧に関すること」として「指定の対象以外への給与」の禁止や、「乳児用として配分されたもの」を「大人に給与する如きないように」等の注意喚起もされていました。

寄付をした団体に対しても配給先の詳細を報告しており、例えば、「日本戦災同胞救援会」サンパウロ支部から一九四八年三月二日受入「砂糖九七七袋三二、二七封度」は同年

- ・三月二十六日 東京學童給食用 六八六袋
- ・三月三十一日 東京外十七縣 国立療養所用 一三八袋
- ・六月二日 愛知學童給食用 一六二袋
- ・六月三日 兵庫學童給食用 五袋三二、二七封度

このように配分されたようです。

昭和二十一年十二月二十四日にはララから給食用物資の贈呈式が行われ、東京、神奈川、千葉の二十五万人の児童に対して学校給食が提供され、翌年一月には全国の児童三百万人に対して提供されました。

※日本難民救済会

ララ物資は、実は、アメリカ、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ、チリ、ペルー、ボリビア等の在留邦人が祖国日本を救済しようとした活動がきっかけとなっています。

戦争中、多くの在留邦人は強制立ち退きや収容され、財産も没収されました。ドイツ人やイタリヤ人は一部の危険視された人物の逮捕・拘束だけであったため、人種差別といわれている所以でもあります。

戦後すぐに差別が解消されたわけではありませんが、戦後の日本の食糧不足や実

海藻の理研から
本当の美味しさと
使いやすさを両立した
冷凍海藻シリーズを
提案します。



理研ビタミン株式会社

名古屋支店 名古屋市中区栄4-2-29 TEL:052-238-3763



ララ物資の記念碑

情を知った在留邦人によってニューヨーク、サンフランシスコ、シアトル、シカゴ、ロサンゼルス、ホノルル、カナダのトロントなどで救済会が設立され、運動が進められました。ララ物資に貢献した在留邦人が設立した救済会は三十六団体だったとされ、ララ物資の総額の約二十%、約八十億円の寄付額であったといわれています。

機運の高まりを示すように、ブエノスアイレスの杉田俊夫が作詞作曲した「日本

救済運動の歌」も残っています。

みんな揃って 橋かけろ
いま俺達へ日本が
手をさし出して
呼んでるぞ

生身と生身で抱きあげろ
その瘦せきった同胞の
血へ同じ血を送るのだ
あ、夢に見て 夢に哭く
あの日本へ橋かけろ
生身と生身で橋かけろ

昭和二十二年以降、国会でもララ本部や在留邦人の救済会に対する感謝決議が行われ、謝意が示されました。また、昭和三十三年には国会議員が中心となってララ物資を送ってくれた在留邦人に感謝を示すために「海外日系人親睦大会」が開催されました。

平成十三年(二〇〇二)には、「ララの功績を後世に残す会」によって横浜の新港埠頭に記念碑が立てられました。

※貢献した浅野七之助

明治二十七年(一八九四)

年に岩手県盛岡で生まれた浅野七之助は、原敬の書生だった大正六年(一九一七)に東京毎夕新聞社の記者としてアメリカにわたった人物で、昭和九年(一九三四)に日米新聞社(サンフランシスコの日本語新聞)の編集局長を務めていましたが、戦中は戦時転住所(ユタ州トパーズ)に収容されました。

戦後、転住所からサンフランシスコに戻って間もない昭和二十年十一月に日本人のキリスト教会や仏教会、日本人会に日本難民救済の必要性を熱心に訴え、全面的な協力を取り付けました。そして、翌年一月二十二日に「日本難民救済会趣意書」を起草し各地方に協力を要請しました。

先述の通り、敵国日本に対する差別もあり活動は難航しました。日本に好意を持っていたアメリカ人エスター・ピドル・ローズに協力を呼び掛けたところ、東京フレンド女学校の教員として日本に滞在したことも

ある彼女は、この活動に賛同して日本に支援物資を送ることができるよう全面的に協力しました。

また、浅野七之助は「日米時事」を創刊し、日本の子どもたちの状況や日本の窮状、ララ物資募集やその配給先の詳細についても細かく報道し、この活動を広めました。その結果として先述のような多くの地域の日本人の協力を得ることになりました。

中日本給食だより

2024年7月号 No.14

令和6年7月15日発行

編集発行人 愛知県学校給食物資流通協同組合

理事長 蜂須賀勝久

〒456-0018 名古屋市熱田区新尾頭二丁目2番7号

富春ビル4F

TEL (052) 682-6219 FAX (052) 682-8486

～タンパク質も選ぶ時代へ～



45g以上/食入り

速筋タンパクとは？

「速筋タンパク」とは、スケソウダラの俊敏な動きの源となる瞬発力を発揮する「速筋」のタンパク質です。

スケソウダラは、高タンパク・低脂質。さらに体内利用効率が良く、筋肉の材料となるタンパク質を無駄なく栄養として利用できます。

発見！スケソウダラの速筋タンパクは、卵と同等以上に良質だとわかりました。

NISSUI

株式会社ニッスイ 中部支社